

第 46 回 キャロットステークス

御協賛趣意書



一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟
(第 46 回 キャロットステークス 実行委員会)

ごあいさつ

拝啓、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から馬術の普及と馬事の振興に対し、格別のご指導、ご支援を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

(一社) 日本社会人団体馬術連盟について

本大会「キャロットステークス」を主催いたします「日本社会人団体馬術連盟」は、1968年に「社会人団体馬術同好会」として結成され、1976年に「社会人団体馬術連盟」、1979年に「日本社会人団体馬術連盟」と改称し現在に至っております。また2025年4月より一般社団法人に移行いたしました。当連盟は、各都道府県馬術連盟、全日本学生馬術連盟等その他の組成団体とともに、公益社団法人 日本馬術連盟の正会員として位置づけられています。

当連盟の会員は、官公庁や企業の職域をベースとする乗馬団体となっています。部員は、学生馬術界の出身者のほか、社会人になってから乗馬を始めた者も多く、平日は仕事に従事し、週末の余暇を乗馬に当てて楽しんでおり、「生涯馬術」を標榜し、日本における乗馬層の底辺拡大と健康的な社会づくりに貢献しております。当連盟および会員団体においては、自身が乗馬を楽しむだけでなく、一企業市民として、馬事の振興やスポーツ馬術の普及を通じ、持続可能な社会の実現に向けた社会的責任を果たしています。

当連盟は、会員団体及びその部員に向けた「全日本社会人馬術選手権大会」「全日本実業団障害馬術大会」、「JBG ホースフェスティバル」をはじめとする競技会の開催のほか、一般競技者向けに「キャロットステークス」を主催しており、また、国際大会としては日本と韓国で交互に開催される「日韓社会人親善馬術大会」を開催しています。このほか、馬術講習会や技能認定審査会、乗馬会ボランティア等を実施しております。これらの事業の企画立案、運営には、各会員団体の中から選出された理事および委員が中心となってあたっています。



<全日本社会人馬術選手権大会>



<全日本実業団障害馬術大会>



<中上級馬場馬術講習会>



<乗馬会ボランティア>

キャロットステークスとは

1980年（昭和55年度）より続く本大会も、今回で第46回を迎えることができました。これも皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当連盟が目指している大きな目的の一つに、乗馬層の底辺拡大があります。本大会はその一環として、当連盟の会員団体に限らず、幅広い乗馬愛好者を対象とした、日ごろの練習の技量検証の場、および参加者の相互交流の場として開催しております。例年の参加者の割合をみましても、当連盟の会員団体以外の参加者が9割以上であり、小学生から60歳を超えるシニア層まで、幅広い年齢層からのご参加は、乗馬・馬術が生涯スポーツであることを改めて想起させられます。

本大会で実施される競技には、大きく分けて障害馬術競技と馬場馬術競技の2つの種目があります。障害馬術競技(Jumping)は、障害が設置されたコースを走行するもので、馬場馬術競技(Dressage)は、馬をいかに正確にかつ美しく運動させるかを競うものです。本大会では障害馬術競技において難易度を変えたクラスを設定しており、馬場馬術競技については第5課目Aから部班競技まで幅広い種目を設定いたしました、参加者は自己のレベルに合った競技種目に出場することができます。こうしたことにより、初級者から上級者まで幅広い選手層が安全に楽しめる大会となっております。

今年も昨年に引き続き、2023年にリニューニューアルオープンしたJRA馬事公苑での開催となります。素晴らしい環境の下、引退競争馬を対象とした競技を実施するなど、競技の一層の充実を図り、引き続き多くの方に参加いただけることを見込んでおります。

本大会に協賛していただくことは、乗馬人口の更なる底辺拡大と日本のスポーツ馬術の拡大・向上に必ずや寄与するとともに、それらを通じた貴社の社会貢献活動をアピールする機会となるものと確信しております。本大会の趣旨にご賛同の上、何卒貴社に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2025年6月吉日

一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟
会 長 東 純一

(一社) 日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

《正会員団体》 17 団体

| | |
|--------------------|-----------------------------|
| 伊藤忠商事(株)相互会乗馬部 | 梅村建工(株)馬術部 |
| クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部 | 警視庁乗馬クラブ |
| 皇宮警察本部 | 学校法人昭和医科大学ライディングチーム |
| JR 東日本馬術クラブ | 衆議院乗馬会 |
| SOMPO ホールディングス馬術部 | 都庁・特別区乗馬部 |
| TOPPAN エッジ(株)馬術部 | 日本アイ・ビー・エム(株)馬術部 |
| パナソニック馬術部 | パナソニックシステムネットワークス(株) 馬術部 |
| 富士通(株)馬術部 | 三井物産(株)乗馬部 |
| レッキス工業(株)馬術部 | |

《準会員団体》 15 団体

| | |
|----------------|---------------------|
| 青波馬術愛好会 | F. R. C. book farm |
| オリックス乗馬部 | グーグル馬術部 |
| ソニー馬術部 | TMG 乗馬同好会 |
| 中部国際空港馬術部 | 新潟市馬術協会社会人愛馬会 |
| 日本知的財産協会馬術部 | 日本電気保安協会馬術部 |
| (株)日本馬事普及馬事研究部 | 防衛省乗馬同好会 |
| (株)三菱総合研究所馬術部 | 山田コンサルティンググループ乗馬同好会 |
| LINE ヤフー乗馬部 | |

《総会員団体数》 32 団体

(2025 年 6 月 現在)

第46回 キャロットステークス

開催概要

| | |
|---------|--|
| 日 程 | 2025年(令和7年)9月12日(金)～15日(祝) |
| 開催場所 | JRA馬事公苑 世田谷区上用賀2-1-1 |
| 主 催 | 一般社団法人 日本社会人団体馬術連盟 |
| 予定競技 | 障害馬術競技： JBG キャロット選手権 障害馬術競技、引退競走馬杯(80cm)、中 障害D 110cmクラス、小障害各100cmクラス・90cmクラス・ 80cmクラス・70cmクラス・60cmクラス、ジムカーナ、ビギナ ーズジャンプ 馬場馬術競技： JBG キャロット選手権 馬場馬術競技、引退競走馬杯(第3課目 A)、JEF 馬場馬術競技 第5課目A・第4課目A・第3課目A・ 第2課目C・第2課目B・第2課目A・第1課目、自由選択課目 (20m×40m、20m×60m)、部班(駈歩、速歩)競技 |
| エントリー見込 | 約410エントリー 参加団体数：30団体 登録馬匹：120頭 |
| ホームページ | https://www.jbg.jp/carrotstakes |



前回大会のご紹介

| | |
|-------|---|
| 大会名 | 第45回 キャロットステークス |
| 日程 | 2024年(令和6年)9月15日(日)～16日(月・祝) |
| 開催場所 | JRA馬事公苑 世田谷区上用賀 2-1-1 |
| 主催 | 日本社会人団体馬術連盟 |
| 実施競技 | 障害馬術競技： JBG キャロット選手権 障害馬術競技、引退競走馬杯(80cm, 100cm)、小障害各 100cm クラス・90cm クラス・80cm クラス・70cm クラス・60cm クラス、ジムカーナ、ビギナーズジャンプ 馬場馬術競技： 部班(駈歩、速歩)競技 |
| エントリー | 全 232 エントリー 参加団体：22 団体 登録馬匹：55 頭 |

